

一般質問（要旨）「市政のここを問う」

今定例会では、14名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。会議録は5月中旬頃に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。



福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)

横田基地について

質問 昨年末から訓練で事故が相次いだ、その確認と対応を問う。

市長 横田基地関連の事件や事故の発生時は国や米軍へ要請を行うなど速やかに対応している。短期間での4件の事故は市民に多大な不安を与えることから、国や米軍に安全対策の徹底を強く求め、今後も市民の

安全安心を最優先に全力で取り組む。[ふっさっ子グローバルヴィレッジについて](#)

質問 開始から2年が経過したが、これまでの経緯と成果を問う。

教育長 対象者の範囲を拡大し、安全面を考慮した国内実施の事業として開始。参加者の自信や英語学習、

異文化交流への理解等の目的に沿った事業で保護者も肯定的だが、日程が合わず参加を断念する例があるほか、より柔軟な指導力のあるスタッフや体験学習に集中できる環境の確保等の課題もあり、今回は東京グローバルゲートウェイでより質の高い体験学習を行い、課題解決につなげる。

正和会
清水 義明 議員



▲ふっさっ子グローバルヴィレッジの様子

福生市総合計画 これからの10年を見据えて

質問 第5期総合計画策定へ「持続可能な都市経営」「地域意識の醸成」という言葉が鍵となるのでは。

市長 持続可能な都市経営を進める上で地域意識の醸成は非常に重要であり、まちの魅力のブラッシュアップとシティセールスは欠かせない。本市を将来にわたって存続させ次代

に継承するため、様々な行政課題に立ち向かい乗り越えることは、まちづくりに携わる者の使命だ。第5期総合計画の策定に全力で取り組む。

[福生市教育振興基本計画 これからの10年を見据えて](#)

質問 これからの10年間、家庭・地域・社会の教育力向上に関しどの

ように考えているか問う。

教育長 新時代を逞しく生きる子どもの育成は学校教育だけではなし得ず、人間の芯となる部分は家庭教育でつくられる。地道な取り組みをしっかりと支え家庭や地域の教育力向上に他部署との連携も図りつつ、今後10年間を見据え計画推進に努める。

正和会
乙津 豊彦 議員



▲福生市教育振興基本計画

児童虐待防止対策について

質問 法改正により、児童相談所の業務の一部が本市に移譲されることになったが、本市の新たな業務内容と今後の対応について問う。

市長 主な新業務は、児童相談所全国共通ダイヤル189に入る通告や近隣住民からの泣き声通告、警察からの通告、特定妊婦に関する案件へ

の対応。本市の過去3年間の新規対応案件は平均年30件だが、平成31年度は58.3件と予測しており、業務増が見込まれることから、31年度から子ども家庭支援課の職員を1名増員し体制強化を図る。また現在、都、児童相談所、市町村の代表者による東京ルール及び子ども家庭支援セン

ターと児童相談所の共有ガイドラインの改正に向けた検討委員会が行われており、施行時期は31年度中なので、動向を注視し準備を進める。庁内連携については、児童福祉法に基づき要保護児童対策地域協議会を設置しており、構成機関との連携をこれまで以上に密にして支援する。

正和会
大野 聡 議員



▲児童虐待防止マニュアル・要保護児童対応マニュアル

地区防災計画の策定と自主防災組織の強化について

質問 地区防災計画の策定は、自主防災組織強化やコミュニティの再生にもつながる。市の所見を問う。

市長 地域の方々が自主的に災害の課題に向き合い議論することは、結果として災害に強いまちづくりを底上げすることとなる。地区防災計画が作成される際には、技術的助言

や情報提供など積極的に支援したい。**総務部長** 先進市の情報などを収集し、どのように投げかけをするのがよいのか等を含めて研究したい。

[教員の働き方改革について](#)

質問 本市における教員の働き方改革の進捗について問う。

教育長 平成30年7月に学校における働き方改革検討委員会を設置。校務支援システムの活用や部活動のあり方、教員の意識改革、保護者・地域の理解促進等の課題を踏まえ、31年2月に福生市立学校における働き方改革推進計画をまとめた。31年度より庁内調整を進めて実施する。

公明党
五十嵐 みさ 議員



▲防災訓練の様子

外国人の市政への影響及び共存への課題について

質問 外国人の増加により大きな効果が生まれるが、生活習慣や文化的背景等の違いによる問題も生じている。外国人の増加による市政運営への影響と共存への課題を問う。

市長 福生市には60カ国もの方がお住まいのため、多言語対応が課題であり、多言語が話せる職員の配置、

印刷物や市ホームページの多言語対応などの対策を講じている。日本語学校等の関係機関と連携し、今後起こり得る課題に対応していく。

[国語科における言語能力の育成について](#)

質問 社会の複雑化、多様化に対応するため、国語科における言語能

力の育成を一層充実させる必要があると考えるが、見解を問う。

教育長 言語は全ての教科の学習の基盤となるものである。新学習指導要領でも国語科の目標や内容の見直しが行われている。今後も言語活動の充実を図り、言語能力を向上させられるよう授業改善を図っていく。

正和会
佐藤 弘治 議員



▲英語版ごみカレンダー